

令和3年5月27日

関係者 各位

熊本高等専門学校長

荒木 啓二郎（公印省略）

### 令和3年度 熊本キャンパス インターンシップ活動の対応とお願い

拝啓 時下ますますご清栄のことと存じます。

日頃より本校の教育研究活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、例年本校学生のインターンシップ活動につきましてもご配慮を賜り、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、5月27日現在、医療従事者や高齢者を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種が進みつつあるなか、従来株よりも感染力が強く重症化しやすいとされる変異株への置き換わりの影響もあり、10の都道府県で緊急事態宣言が発令されており、熊本県でも、5月16日からまん延防止等重点措置が適用されています。

現状を鑑みて、今年度実施されるインターンシップにつきまして、熊本高専熊本キャンパスにおける対応とお願いを以下に示します。例年、本校学生にインターンシップの機会を与えて頂いている企業の皆様におかれましては、ご理解いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

- ① 今年度の夏季インターンシップについては、オンライン実習と九州地区（沖縄県を除く）の地域で実施される現地実習に限り、学生の参加を許可することにいたしました。長距離の移動および主に首都圏や近畿圏などでの活動に伴う感染・拡散リスクがあることから、このような決定といたしました。ただし、熊本県が不要不急の移動の自粛を要請している場合は、他県の状況にかかわらず現地実習を不可とします。なお、今年度春季インターンシップにつきましては、現在のところ実施を予定しております。
  
- ② 九州地区の各県においても、新型コロナウイルスの感染状況によっては、学校が参加を禁止する可能性がありますことをご了承ください。具体的には、下表に示す新型コロナウイルスの感染ステージの指標に基づき、オンラインへの切り替え、もしくは実施の延期を学校から受け入れ企業に依頼します。オンラインへの変更や延期が不可能な場合は、インターンシップを中止します。既にインターンシップを実施中の場合にも、学校から企業にオンラインへの変更、もしくは延期ができなければ中止を要請します。また、リスクレベルに関わらず、インターンシップ企業側が中止等の判断を

した場合はその決定に従います。

	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島
各県の ステージ	ステー ジⅢ	ステー ジⅢ	ステー ジ4	ステー ジⅢ	レベル 5	レベル 3	ステー ジⅢ

- ③ インターンシップについては、学校が許可しているものに限り、本校学生が加入している「公益財団法人 日本国際教育支援協会が取り扱っている学生教育研究災害傷害保険及び学生教育研究賠償責任保険」が適用されます。熊本キャンパスでは、事務が取りまとめて本校学生の参加申込みをいたします。学校での所定の手続きを行わず実施されたインターンシップ活動については、実習先で生じた、いかなる損害に関しても、本校は責任を負いかねますことをご承知おき下さい。直接、本校学生から申込みがございましたら、お手数をおかけいたしますが、下記連絡先までご連絡いただきたく存じます。
- ④ オンライン（WEB等）でのインターンシップ活動につきましては、課題及び取り組みに対して、学生が主体的に活動し、企業側からスコア・実習証明書にて学生の活動を証明いただける場合、単位として認定する方針です。オンラインでのインターンシップ実施及び本校学生の受入をご検討いただけます場合は、[インターンシップ受入についての回答票\(Microsoft Forms\)](#)からご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

夏季インターンシップについては、上述のとおり実施することとなりますが、インターンシップ活動は実際の職場を体験することにより、未来の自分の技術者像やキャリアパスを見つめ、自立した一技術者を目指す契機となる貴重な機会だと考えております。企業の皆様におかれましては、勝手を申し上げて大変恐縮ですが、オンライン（WEB等）での夏季インターンシップ実施につきまして、前向きにご検討いただけますと幸甚に存じます。

ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

【問い合わせ先】

熊本キャンパス学生課教務係

E-mail : [internship@kumamoto-nct.ac.jp](mailto:internship@kumamoto-nct.ac.jp)

TEL: 096-242-6205

FAX: 096-242-5504

[別紙資料] 国と九州沖縄地区の各県が定める「ステージ判断の指標」

・内閣官房が定める「ステージ判断のための指標」

新型コロナの新ステージ指標							
	医療提供体制				感染状況		
	確保病床の使用率	入院率	確保病床の使用率(重症者用)	療養者数(人口10万人当たり)	PCR検査の陽性率	1週間の新規陽性者数(人口10万人当たり)	感染経路不明者の割合
<b>ステージ4</b> 感染爆発	50%以上	25%以下	50%以上	30人以上	10%以上	25人以上	50%以上
<b>ステージ3</b> 感染急増	20%以上	40%以下	20%以上	20人以上	5%以上	15人以上	
<b>ステージ2</b> 感染漸増	※ステージ1と2は特に指標なし						
<b>ステージ1</b> 感染散発							

出典：内閣官房 画像制作：Yahoo! JAPAN（内閣官房の資料を元に作成）

<https://news.yahoo.co.jp/pages/article/20200813>

・福岡県が定める「ステージ判断の指標」（国と同等の指標）

ステージ判断の指標

令和3年5月19日

	医療提供体制等の負荷						監視体制		感染の状況	
	①医療のひっ迫具合						②療養者数	③PCR等陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床							
<b>ステージⅢの指標</b>	確保病床数の使用率 20%以上	入院率 40%以下※	確保病床数の使用率 20%以上	人口10万人当たり 療養者数 20人以上	直近1週間 PCR等陽性率 5%以上	直近1週間 人口10万人当たり 新規陽性者数 15人以上	直近1週間 感染経路不明割合 50%以上			
本県の状況	○ (該当)	-	○ (該当)	○ (該当)	○ (該当)	○ (該当)	○ (該当)			
	935/1206床 77.5%	1008/3988人 16.8%	83/158床 52.5%	5,988人/51.04 117.3人	7.5%	3,128人/51.04 61.2人	80.5%			
<b>ステージⅣの指標</b>	確保病床数の使用率 50%以上	入院率 25%以下※	確保病床数の使用率 50%以上	人口10万人当たり 療養者数 30人以上	直近1週間 PCR等陽性率 10%以上	人口10万人当たり 直近1週間新規陽性者数 25人以上	直近1週間 感染経路不明割合 50%以上			
本県の状況	○ (該当)	-	○ (該当)	○ (該当)	× (該当なし)	○ (該当)	○ (該当)			
	935/1206床 77.5%	1008/3988人 16.8%	83/158床 52.5%	5,988人/51.04 117.3人	7.5%	3,128人/51.04 61.2人	80.5%			

※新規陽性者が、発生届が届けられた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ、入院が必要なものが同日までに入院しているため、「入院率」を適用しない。

出展：福岡県内における新型コロナウイルス感染症陽性者等について（20210520 記者発表資料）

・佐賀県が定める「ステージ判断の指標」

内閣官房が定める「ステージ判断のための指標」に準じます。

・長崎県が定める「新型コロナウイルス感染段階対応の目安」

◆ステージの判断及びステージごとに取り組む施策については、以下の指標等を参考に、専門家の意見等を踏まえ総合的に判断する。

判断指標	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5	
	感染者の散発発生	感染者の漸増	感染者の増加・拡大	特定圏域や業種における感染者の急速な増加	県下全域における感染者の急速な増加	
確保病床占有率 (全体) 上段：最大確保 (395床) 下段：現時点確保 (225床)	ステージ2 移行の目安以下	7人/日が 1週間連続 or 20人規模の クラスター 2件発生	・ — ・ 25% (56床) 以上	・ — ・ 50% (113床) 以上	・ 50% (198床) 以上 ・ —	
確保病床占有率 (重症用) 上段：最大確保 (27床) 下段：現時点確保 (20床)			・ — ・ 25% (5床) 以上	・ — ・ 50% (10床) 以上	・ 50% (14床) 以上 ・ —	
新規報告者数			90人/週 以上 (13人/日以上)	193人/週 以上 (28人/日以上)	303人/週 以上 (43人/日以上)	
療養者数			140人/日 以上	283人/日 以上	495人/日 以上	
直近1週間の増加割合			先週1週間と比較して 直近1週間の方が感染者数が多い			
PCR陽性率			10%			
感染経路不明割合			50%			



※高齢者施設において、クラスターが発生した場合の対応は別途検討

出展：新型コロナウイルス感染段階対応の目安

・大分県が定める「ステージ判断の指標」

現在のステージは、「**ステージⅢ**」です。  
※各指標を基に総合的に評価

本日の状況⇒

	重症者用病床利用率	病床利用率	感染経路不明者割合 (1週間)	人口10万人あたり 新規感染者数/週
本日の状況⇒	<b>11.6%</b> (5床/43床)	<b>49.3%</b> (216床/438床)	<b>33.4%</b> (130人/389人)	<b>34.27人</b> (389人)
<b>ステージⅠ</b> 感染者が散発的に発生	10%未満	10%未満	30%未満	5未満
・感染者が一定の範囲にとどまっている ・医療提供体制に特段の支障がない状況				
<b>ステージⅡ</b> 感染者が増加し、医療への負荷が蓄積	10～20%未満	10～20%未満	30～50%未満	5～15未満
・クラスターが発生し、感染者が増加、重症者も徐々に増加 ・保健所や医療提供体制などの負荷が蓄積しつつある状況				
<b>ステージⅢ</b> 感染者が急速に増加し、医療提供体制に支障	20～50%未満	20～50%未満	50%以上	15～25未満
・クラスターが多発し、感染者が急増 ・医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも支障が生じる状況				
<b>ステージⅣ</b> 爆発的に感染が拡大し、深刻な医療提供体制の機能不全	50%以上	50%以上	50%以上	25以上
・大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生 ・高齢者や向リスク者が大量に感染し、多くの重症者や死者が発生 ・公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥る状況				

出展：大分県における PCR 等検査実施人数及び患者状況 (R3.5.20 15 時 00 分更新)

<https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/covid19-pcr.html>

・熊本県が定める「ステージ判断の指標」

**各レベルにおける県の具体的対策と県民への要請の目安**

- ・下表は目安で、対策は、感染の様態を見極め、「対策の考え方・方向性」に沿って、原則としてレベル発表時に合わせて発表します。
- ・対策を実施する地域は毎回検討しますが、特に県民に負荷をかける本県の対策は、要請する地域を十分に検討します。
- ・適時有識者への相談等を行い、戦略的に感染を抑え込む対策を実施します。

リスクレベル	対策の考え方・方向性	具体的対策の目安
<b>レベル5 厳戒警報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。</li> <li>・大規模クラスターや感染拡大の確率が高い状態の体制整備、検査実施等。</li> <li>・MRI/ハリスを利かせた接触機会を軽減するため、強い制限を要請。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レベル4に加え</li> <li>【対策】・医療提供体制維持のための救命を最優先とした入院調整等</li> <li>・クラスター周辺への幅広いPCR検査の実施、事業者や施設等への指導等を要請</li> <li>【要請】・不要不急の世帯を越えた移動自粛を要請</li> <li>・競争力確保や限有施設利用への制限を要請(人数制限等)</li> <li>・大人数での会食の自粛を要請</li> <li>・感染防止対策が不十分事業者、施設等の休業を要請/時間短縮営業協力依頼等</li> </ul>
<b>レベル4 特別警報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所の体制強化及び幅広い検査、原因施設等への指導等を行う。</li> <li>・MRI/ハリスを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レベル3に加え</li> <li>【対策】・保健所機能維持のための体制強化</li> <li>・クラスター周辺への幅広いPCR検査の実施、事業者や施設等への指導等を要請</li> <li>【要請】・感染拡大の原因や、施設等に着目し、事業者や施設等にMRI/ハリスを利かせ感染防止対策強化を要請</li> </ul>
<b>レベル3 警報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなどところから感染防止対策の強化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レベル2に加え</li> <li>【対策】・有症状者及び接触者等へのPCR検査の積極的な勧奨</li> <li>・県有施設の感染防止対策の点検</li> <li>【要請】・年代・属性ごとの適切な行動の実施を要請</li> <li>・中・小規模・職場での感染予防徹底</li> <li>・若者層・クラブ活動等における感染予防徹底</li> <li>・規模や業種に応じた事業者、施設等への対策強化を要請</li> </ul>
<b>レベル2 警戒</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【対策】・感染者の接触者等へのPCR検査の強力的適用</li> <li>・感染防止対策を実施している店舗の利用勧奨</li> <li>・県有施設の感染防止対策徹底</li> <li>・施設、事業者等への感染防止対策指導等</li> <li>【要請】・感染が拡大している地域との県境を越えた移動は慎重な判断を要請</li> <li>・基本的な感染防止対策の強化を要請</li> <li>・高齢者等、重症化リスクの高い者への感染防止対策の徹底を要請</li> <li>・介護労働者・医療機関従事者等への感染防止対策の徹底を要請</li> <li>・接触確認アプリ「COCOA」の周知及び普及促進の要請</li> <li>・家庭内での感染防止対策の徹底を要請</li> <li>・テレワーク等の要する推進を要請</li> </ul>
<b>レベル1 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【要請】・新しい生活様式の要請</li> <li>・接触確認アプリ「COCOA」の導入促進を要請</li> </ul>
<b>レベル0 平常</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な対策を啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【要請】・新しい生活様式の要請</li> <li>・接触確認アプリ「COCOA」の導入促進を要請</li> </ul>

出展：熊本県新型コロナウイルスリスクレベル基準の改定について

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/69445.html>

・宮崎県が定める「ステージ判断の指標」

表示		発令目安	対応例
	<b>レベル4</b> (緊急事態宣言)	・国指標ステージ4相当 (各指標を総合的に判断)	・全域において、赤圏域の対応 ・その他の必要な対応
	<b>レベル3</b> (感染拡大緊急警報)	・国指標ステージ3相当 (各指標を総合的に判断)	・緑及び黄にあっては黄圏域の対応、 赤圏域は赤圏域の対応（オレンジ区域 は個別に設定） ・全域における、その他の必要な対応
	<b>レベル2</b> (特別警報)	・黄圏域が3つから4つ以上 ・オレンジ区域が1つ以上 ・赤圏域が1つ以上	・圏域毎に緑、黄又は赤圏域の対応 (オレンジ区域は個別に設定)
	<b>レベル1</b> (警報)	・黄圏域が1つから3つまで	・圏域毎に緑又は黄圏域の対応
	<b>レベル0</b> (持続的な警戒)	・全ての圏域が緑	・県全域において緑圏域の対応

出展：県内の感染状況（警報レベル）及び全国の感染状況（警報発令の目安）

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kansensho-taisaku/covid-19/yobo/hassei.html>

・鹿児島県が定める「ステージ判断の指標」

感染拡大の警戒基準 全体図



出展：新たな感染拡大の警戒基準について

<https://www.pref.kagoshima.jp/ae06/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/kansensho/aratanakeikaikijun.html>